

ここが“ふるさと”と誇れるまちに！

中央区地域振興会 会長 伊藤 弘一郎



中央区が合区30周年の大きな節目を迎えましたことを、衷心よりお慶び申し上げます。

私はちょうどこのタイミングで、思いもしていなかった中央区地域振興会の会長職を拝命し、いまその責任の重さを痛感しているところです。また、中央区が大阪の中心として立派な存在感を発揮していること考えると、これまでの諸先輩のご尽力に、ただただ頭が下がる想いです。今は、そのご苦勞を無駄にすることなく、次の世代につないでいくことが、私の使命だと考えているところです。

ここ数年、大阪への外国人訪問客が急増しており、道頓堀界隈や大阪城は、観光客が訪れる場所の1位、2位を占めています。このように中央区を訪れる人が群を抜いて多いのは、このまちが世界の国々に“訪れたい地域”としての評価が高まってきているからであり、それだけの魅力がある地域になってきたということでしょう。中央区の地価の上昇率がトップにランキングされているのも、この人気の高さが数字に表れてきているのだと思います。近年、このまちにはマンションの建設が進んで、新しく移ってきた住民が急増しています。これら新旧の人たちがいっしょになって、さらに魅力いっぱいのもちにし、若い子どもが大人になったとき、ここが「ふるさと」だと胸を張っていえるまちにしたい、と私は常々思っています。どうか、これからもご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。